令和７年12月28日（日）発行

大安寺報

第86号

曹洞宗 圓祥山大安寺
住職：長岡 俊成
〒039-4401
青森県むつ市大畑町
本町80番地
Tel　0175-34-2926
Fax　0175-34-6426
daianji2009@gmail.com
http://www.daianji.jp

名句・名言に学ぶ

生きているということは誰かと手を
つなぐこと　つないだ手のぬくもり
を忘れないでいること

（作家　永六輔）

いよいよ年が押し迫ってきましたが、今年一番の共通の印象深い出来事といえば、十二月八日に発生した青森県東方沖地震に伴う津波避難だったのではないでしょうか？発災直後に発令された避難指示を受け、むつ市指定避難所である大安寺には、その夜から翌九日にかけて避難所が開設されました。住職である私は施設管理者としてその一端を担わせていただきましたが、避難された約百八十名の地域の方々が互いに声を掛け合い、自然に助け合う姿に深い感銘を受けました。情報の伝達に始まり、段ボールベッドの組み立て、毛布や保存水の分配、受付や交通整理、さらには送迎まで、それぞれが自分にできることを見つけ、進んで力を尽くしてくださいました。まさに「共助」の精神が隅々にまで行き渡っていたように思います。

防災では「自助・共助・公助」が命を守る三本柱であるといわれますが、この二日間に繰り広げられた姿は、共助の輪が広がった尊い営みそのものでした。お釈迦さまがお説きになった「縁起」の理は、私たちが互いに支え合い、支えられながら存在していることを示します。今回の避難所での経験は、その縁起の働きを実感する時間であり、人のぬくもりが大きな力となることを教えてくれました。

そして、冒頭の詩が示すように、つないだ手は心と心を結び、見えぬところで私たちの不安をそっと和らげてくれます。誰かの存在を感じるだけで、安心できる力が生まれるのだと改めて思いました。それはまた布施の一つである「無畏施」（裏面参照）の実践でもあったのではないでしょうか？

まもなく新しい年を迎えます。どうか皆さまが穏やかに年越しを迎え、来る一年が安らぎと希望に満ちた佳き歩みとなりますよう、心より祈念申し上げます。

合掌

仏事Q&A 第六十一回

Q．年回法要はどのように行えばよいのですか？

A．年回法要は故人の祥月命日に営みます。しかし諸事情により都合がつかない場合は、祥月命日にあたる日より前に行うのがよいとされます。本来、供養とは、人々がお釈迦さまのみ教えを学び、出会えたことに感謝して、お釈迦さまへ休息所をしつらえ、飲食などの供物でもてなすことを指していました。これらを行うことにより大いなる功徳を得られるとされてきました。こうした功徳を亡き人に廻らしむけることから供養の意味が展開してきました。その供養を法事と言うこともあります。したがって供養とは、施主が仏さまに飲食や花、お香と供え、卒塔婆を建立し、ご住職とともに読経することによって、善根の功徳を積むことにあります。その善い行いによる功徳を廻らしむけることにより、ご先祖さまや故人、さらに、すべての人々の安寧を祈り、あわせて、自分を含むすべてのものが仏道を成就することを願うものです。心のこもった供養がとり行われるよう、施主として万全の準備をもって臨めるよう心がけてください。

出典：「仏事Q&A曹洞宗」（編：曹洞宗総合研究センター）

大安寺の宗旨：曹洞宗　両本山：福井県 永平寺・神奈川県 總持寺　高祖：道元禅師　太祖：瑩山禅師
ご本尊：釈迦牟尼仏　本尊唱名：南無釈迦牟尼仏（なむしゃかむにぶつ）

各行事の表書き

○正月（ご祝儀袋可）
　御礼銭
　又は　ご祈祷料

○春・秋彼岸
　回向料（えこう）
　又は　諷誦料（ふじゅ）

○節句（ご祝儀袋可）
　御礼銭

○お盆
　回向料
　又は　諷誦料
　お供物は　御施餓鬼

お知らせ

血脈（戒名）授与式再開について

仏弟子として守るべき戒（いまし）めを学び、仏弟子の証としての血脈（けちみゃく）（戒名）を授かる「血脈（戒名）授与式」を三月一日（日）午後二時～五時に定員十名にて開催します。詳細については、裏面をご覧ください。なお、参加申込締切日は二月一日（日）です。

【維持費納入について】
○令和七年度維持費（五千円）の納付期限は令和七年十二月三十一日です。なお期限を過ぎても納付可能です。納付忘れのないようお願いいたします。

令和八年　年回表

一周忌	令和七年
三回忌	令和六年
七回忌	令和二年
十三回忌	平成二十六年
十七回忌	平成二十二年
二十三回忌	平成十六年
二十七回忌	平成十二年
三十三回忌	平成六年
三十七回忌	平成二年
四十三回忌	昭和五十九年
四十七回忌	昭和五十五年
五十回忌	昭和五十二年
百回忌	昭和二年

（法事早見表）

【法事の際にご用意いただくもの】
①御位牌
※仮位牌は、忌明け（三十五日もしくは四十九日）まで
②本堂にお供えする御供物（あげもの）少々（菓子・果物など）
※可能であれば前日までにお届けください。当日になる場合は、法事開始十分前までに御持参ください。
☆引き続き墓参をされる場合は、線香・ろうそく・供物・花・洗米（あられ）なども御持参ください。

大安寺公式 LINE 登録者募集中！

各種行事のご案内のほか、ご法事の予約、仏事相談も承ります。

各種講座のご案内（令和八年一月～三月）

◆「月例写経・写仏会」（予約不要）
日時―一月二十五日（日）、二月二十二日（日）、三月二十二日（日）
午後一時～三時
内容―ミニ法話～写経・写仏～茶話会
場所―中広間　参加費―五百円　備考―椅子席

◆「黄昏坐禅会」（予約不要）
日時―一月十八日（日）、二月十五日（日）、三月十五日（日）
午後四時～五時　※坐禅指導希望の方は午後三時半集合
内容―禅語紹介～坐禅
場所―中広間　参加費―無料　備考―椅子坐禅可能
服装―動きやすい服装で。（スカート・ジーンズ不可）

行事カレンダー（令和八年一月～三月）

■令和八年一月一日（木・元旦）午前0時～午前一時
「元朝大般若祈祷」（本堂）・「除夜の鐘」（鐘楼堂）

■令和八年三月十五日（日）
「涅槃会法要」（本堂）午前十一時～正午
※お釈迦さまの入滅（涅槃）にちなみ、報恩感謝する法要です。

■令和八年三月二十日（金・春分の日）
「春季彼岸会法要」（本堂）午前十一時～正午
※同日午後二時より、「永代供養墓苑合同供養祭」※荒天時は本堂にて

編集後記

本年は七月三十日、十二月八日・十二日と三度の避難所開設となりましたが、市役所職員・住民の皆さんのご協力で円滑な運営ができました。今後、さらに安全に命を守り、安心して過ごすことのできるお寺を目指し、檀信徒の皆様のお力を借りながら努めて参りたいと存じます。（住職）

次号のご案内　令和八年三月中旬に発行予定です。